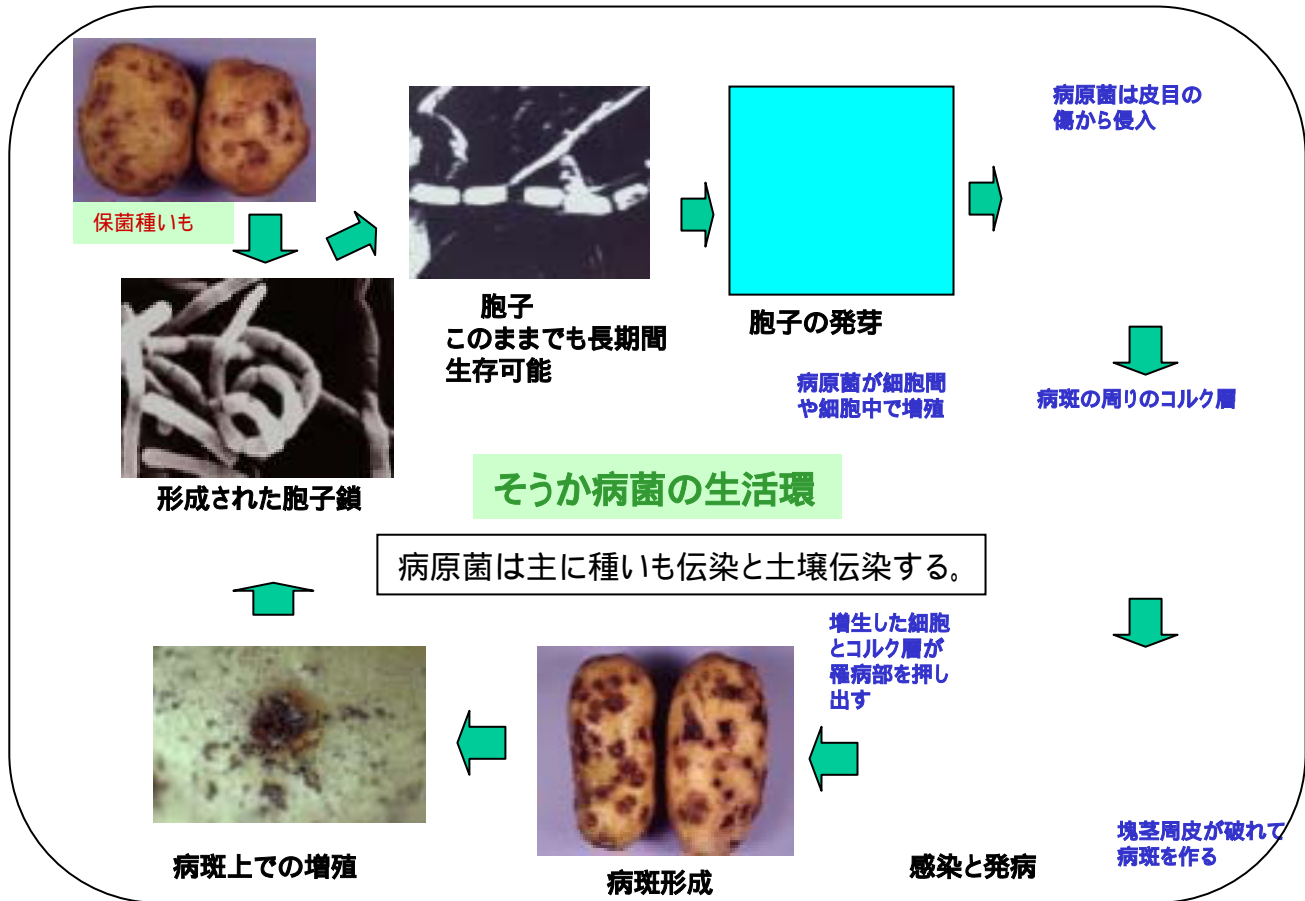


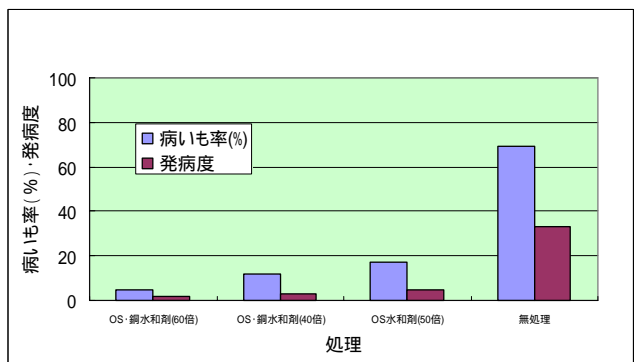
伝染方法と発病

1. 病原菌は主に保菌種いもや汚染土壌で圃場に持ち込まれる。
2. 種いもは無病徴でも保菌していることがある。
3. 一度汚染された圃場では、ばれいしょの作付けに関係なく、非常に長期間にわたって土壌伝染する。



種いも消毒の重要性

種いも消毒剤の効果は高い(右図)。
道内にはまだ未発生畑が多い。
さらに黒あざ病の防除も重要。



種いも消毒剤の防除効果

注) 図中、OS: オキシテトラサイクリン・ストレプトマイシン水和剤。
指数2程度の罹病種いも使用